

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 曾根 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、2年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

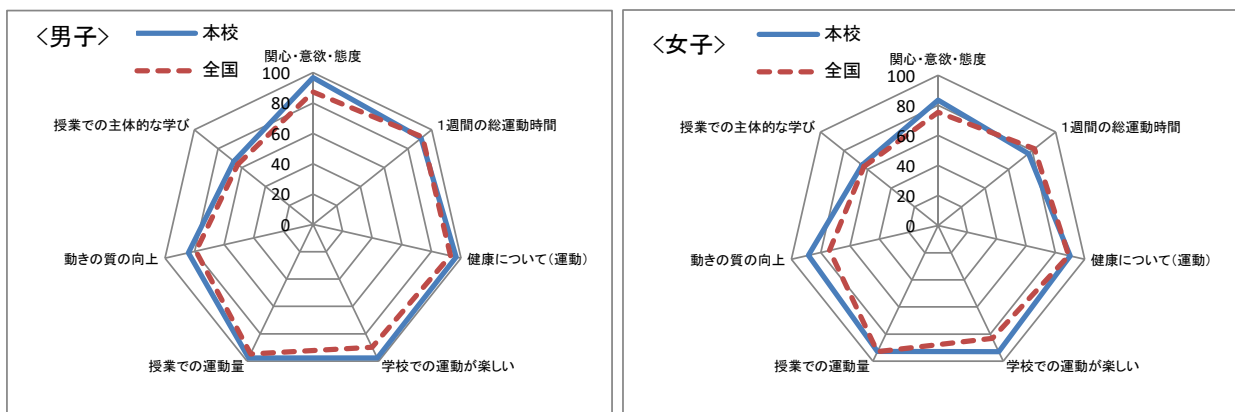
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

○本校では「運動が好きですか。」という質問に対する肯定的な回答の割合は、男子が96.7%、女子が83.5%で全国平均(男子:87.5% 女子:75.5%)よりも高い結果となった。運動が好きと考える生徒が多い一方、1週間の総運動時間数が420分以上と答えた生徒は、男子が75.3%、女子が56.7%となり全国平均(男子:79.1% 女子:58.4%)よりも低い結果となった。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

「運動が好き」という気持ちが、具体的な行動に結びついていないことから、保健の授業の中で、一人で運動する方法や校外で友達と運動する方法を考えさせたり、アドバイスしたりする。また、体育の授業で、ストレッチなどの準備運動をする際、例えば「テレビを見ながらでもできるよね」など、家庭生活の一場面を想起させながら行うことで、具体的な行動に結びつくようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

年間行事の中に運動習慣期間を設定し、その期間内に運動した時間をグラフや数値で記録させることで生徒の意欲を向上させる。また、どんな運動を実施するか掲示したり、どんな運動をしたかなどを話し合う時間を設けたりすることでより一層の運動習慣の定着を図る。